

平成29年度予算がまとまりました

みなさんへの健康づくりの さらなるサポートに注力して まいります

去る2月16日に開催された第110回組合会において、平成29年度の予算が可決・承認されましたので、お知らせいたします。

健康保険料率の引き上げにご理解をお願いいたします

平成20年度より導入された高齢者医療制度への納付金によって、全国の多くの健保組合では財政が逼迫し、保険料率引き上げの実施や保健事業の見直しを迫られるなど運営の危機に瀕しています。さらに29年度は、後期高齢者支援金の全面総報酬割（給料やボーナスなどの収入額に応じて金額が決められるしくみ）が実施されるなど、健保組合における負担は増加し、一段と厳しさが増していくものと予想されます。

こうした状況は当健保組合も同じであり、26年度から保険料率を千分の87から千分の94に変更しました。しかし、被保険者数・標準報酬月額・標準賞与額が年々減少したことにより、保険料収入が減少し、それに加え保険給付費・納付金の大幅な増加により、このまま

◎平成29年度収支予算概要

■介護保険

【収入】

科 目	予算額(千円)
みなさん*と事業主から納められる介護保険料	286,565
繰越金等	1,035
合 計	287,600

【支出】

科 目	予算額(千円)
国に納める介護納付金	284,871
介護保険料還付金・積立金	229
予 備 費	2,500
合 計	287,600

※介護保険第2号被保険者たる被保険者等

■健康保険

【収入】

科 目	予算額(千円)
みなさんと事業主から納められる保険料	2,613,053
健保組合が互いに出し合って助け合うお金（調整保険料）	33,077
繰越金	12,000
繰入金	130,001
その他	34,769
合 計	2,822,900

【支出】

科 目	予算額(千円)
病気やけがやお産をしたときに健保組合が負担する保険給付費	1,377,142
高齢者の医療に使われる納付金	1,144,414
健康づくりに使われるお金	160,815
健保組合が互いに助け合うための拠出金	33,077
その他	57,452
いざというときのための予備費	50,000
合 計	2,822,900



..... 被保険者1人当たりでみた収支予算(健康保険)



なお、介護保険については、介護保険料率を前年度より千分の1・2引き上げ、千分の17・2で予算編成を行いました。健保組合が国に納めることとされている介護納付金は、現在、健保組合の加入者数によって決まるしくみ（加入者割）となっておりますが、29年8月からは算出方法が変更される予定となっており、介護納付金額の $\frac{1}{2}$ が総報酬割に、31年度に $\frac{3}{4}$ 、32年度には全面総報酬割となります。これにより、被保険者の負担はますます増えることが見込まれています。